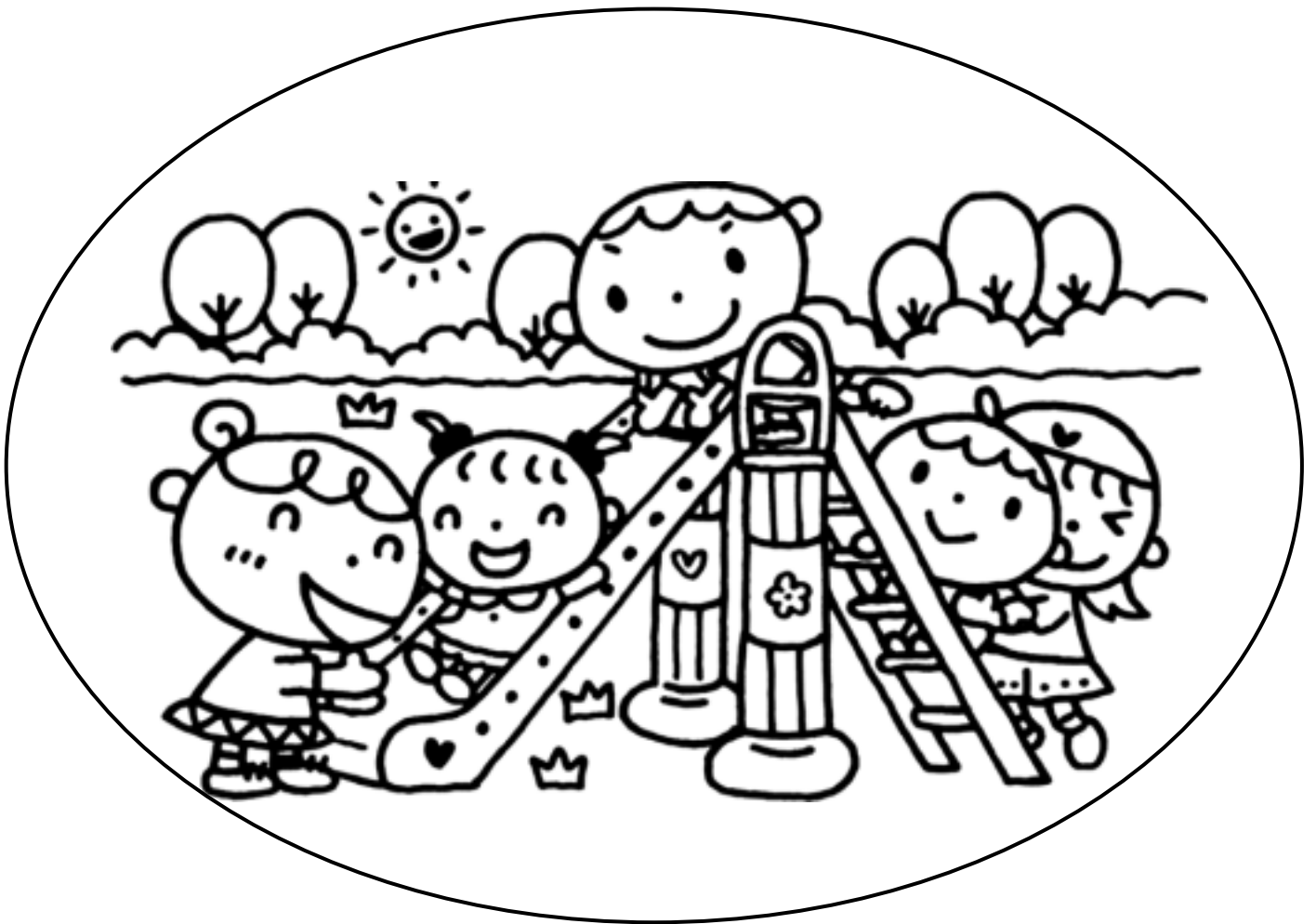


子ども・子育て支援事業計画策定に関するアンケート調査 (小学生のいる世帯用)



城陽市
平成26年1月

【調査ご協力のお願ひ】

日頃より、市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

今回、平成24年8月に子ども・子育て関連3法が成立し、平成27年4月から新たな子ども・子育て支援制度がスタートします。このような国の状況にあわせて、本市では、今後の子育て支援策の方向性を示す城陽市子ども・子育て支援事業計画を策定する予定です。

今回、城陽市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて、小学生の保護者のみなさまから、子育ての実態や市に対するご意見などをお聞きし、その結果を、計画策定の基礎資料にしたいと考えております。

この調査の対象者は、小学生がいる世帯から無作為抽出で1,200人を選ばせていただきました。ご回答いただいた調査内容は、集計した上で、城陽市子ども・子育て支援事業計画にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【調査票のご記入にあたってのお願ひ】

1. 別添の調査票に回答をお願いします。
2. 特にことわりのない場合は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
3. アンケートはお子さんの保護者がご記入ください。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。
4. ご回答は、選択肢に をつけてお選びいただく場合と数字などをご記入いただく場合があります。四角の枠に数字を記入してください。
5. 時刻をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時 18時）でご記入ください。

記入例
1日あたり

0	8
---	---

 時間 【

9

 時

0	0
---	---

 分 ~

1	7
---	---

 時

0	0
---	---

 分】

6. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
7. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
8. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、2月14日（金）までにご投函ください。
9. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

城陽市 福祉保健部 子育て支援課

電話：0774-56-4035 FAX：0774-56-3999

回答するにあたってお読みください

城陽市では、平成 27 年度から実施予定の新たな子ども・子育て支援制度のために子ども・子育て支援事業計画を作成することにしています。

この調査は、計画に含める、幼稚園、保育所、子育て支援などの今後の施策を把握するために行うものです。

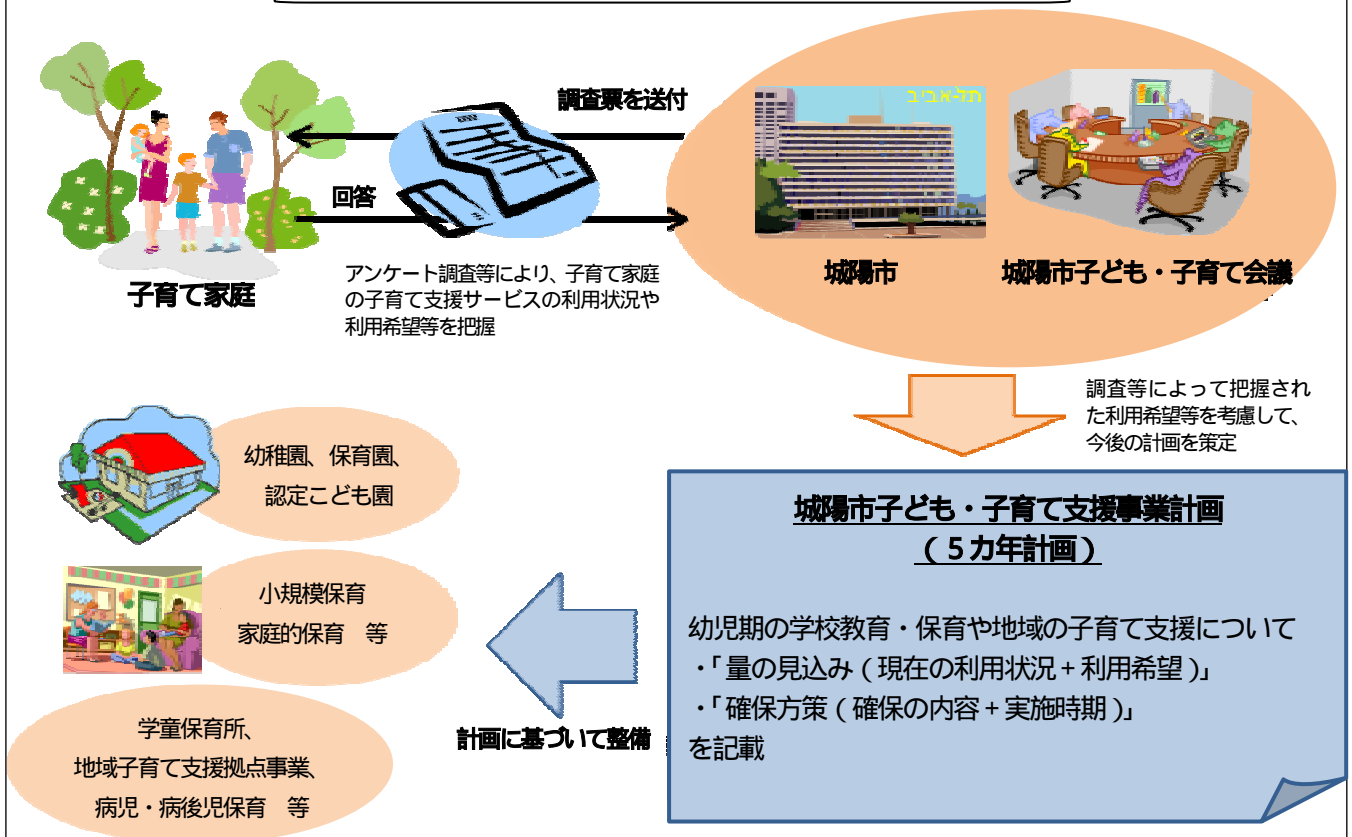
また、この新制度は、以下のような考え方に基づいています。

一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現する。

子どもが自己肯定感を持って育まれる環境を整備する。

保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が親として子どもに関わることに喜びを感じながら、子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に活かされます



【城陽市の主な子育て支援について】

学童保育所

保護者の就労等の理由により留守家庭となる小学1年生から4年生までの児童に対し、放課後、学童保育所で保育を行います。

ファミリー・サポート・センター

地域において、育児の援助を受けたい人と、育児の援助をしたい人が会員となり、会員同士で育児に関する相互援助を行います。援助を受けた場合は、利用料等を支払う必要があります。

家庭児童相談室

お子さんのことが気にかかったり、悩んだりした時には些細なことでも相談を受け付けています。また、児童の養育上の問題・児童虐待・要保護児童に関する相談に応じています。

ショートステイ

小学校修了前までの児童で、家庭において一時的に養育が困難な場合、児童福祉施設において一定期間養育を行います。

特別児童扶養手当

精神もしくは身体に中程度以上の障がいのある20歳未満の児童を家庭で育てている親、あるいは親に代わってその児童を養育している人に支給されます。ただし、一定以上の所得があると支給されません。

児童手当

中学3年生まで(15歳到達後の最初の3月31日まで)の児童を養育している人に支給されます。ただし、一定以上の所得がある人は特例給付となります。

児童扶養手当

離婚などによる一人親家庭の父または母、配偶者の身体等に障がいのある児童の父または母、あるいは父母に代わってその児童を養育している人に支給されます。ただし、一定以上の所得があると支給されません。

母子家庭奨学金など

母子家庭等に奨学金などを支給します。所得に制限はありません。

交通遺児奨学金など

交通事故により、親等を亡くされた乳幼児・小学生等に、奨学金などを支給します。所得に制限はありません。

交通遺児激励金など

交通事故により、親等を亡くされた乳幼児・小学生等の育成および福祉の増進を図るため、激励金および見舞金の支給があります。



子ども・子育て支援事業計画策定に関するアンケート調査

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区として当てはまる答えの番号に をつけてください。

1. 久津川 2. 古川 3. 久世 4. 深谷 5. 寺田 6. 寺田南
7. 寺田西 8. 今池 9. 富野 10. 青谷

問2 宛名のお子さんの生年月を 内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

平成 年 月生まれ

問3 お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を 内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

子どもの数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 調査票にご回答いただいている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号に をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号に をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 母親、父親の該当する年齢階層に をつけてください(ひとり親家庭の方は、母親欄または父親欄のみお答えください)。

母親	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳以上
父親	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳以上

問7 お子さんとの同居の状況について当てはまる番号すべてに をつけてください。続柄はお子さんからみた関係です。

1. 父母同居 2. 父同居(ひとり親家庭) 3. 母同居(ひとり親家庭)
4. 祖父同居 5. 祖母同居 6. その他()

問8 お子さんの祖父母が近くにお住まいですか。当てはまる番号に をつけてください。近くとは、ご自身の移動手段で概ね30分以内程度に行き来できる範囲です。

1. 住んでいる 2. 住んでいない

問9 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号に をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

問9 - 1 お子さんの父親は、育児・お子さんの世話をよくやっていますか。当てはまる番号にをつけてください。

- 1 . よくやっている 2 . 時々やっている 3 . あまりしない 4 . 全くしない 5 . 何ともいえない

問9 - 2 お子さんの父親は、育児休業をどのくらいの期間とりましたか。当てはまる番号にをつけてください。

- 1 . 1週間未満 2 . 1カ月未満 3 . 1カ月～3カ月未満
4 . 3カ月～6カ月未満 5 . 6カ月以上 6 . 育児休業はとっていない

お子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問10 お子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。当てはまる番号すべてにをつけてください。

- 1 . 家庭 2 . 地域 3 . 小学校 4 . その他 ()

問11 日頃、お子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてにをつけてください。

- 1 . 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2 . 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3 . 日常的に子どもを預かってもらえる友人・知人がいる
4 . 緊急時もしくは用事の際には子どもを預かってもらえる友人・知人がいる
5 . いずれもない

問11 - 1は、問11で「1」または「2」に をつけた方にうかがいます。

問11 - 1 祖父母等の親族にお子さんを預かってもらっている状況について、当てはまる番号すべてにをつけてください。

- 1 . 祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、特に問題はない
2 . 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3 . 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4 . 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5 . 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6 . その他 ()

問11 - 2は、問11で「3」または「4」に をつけた方にうかがいます。

問11 - 2 友人・知人にお子さんを預かってもらっている状況について、当てはまる番号すべてにをつけてください。

- 1 . 友人・知人が子育てに協力してくれ、特に問題はない
2 . 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3 . 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4 . 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5 . 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6 . その他 ()

問12 子育ては、楽しいときもあれば、つらいときもありますが、お気持ちに一番近いものを選んでください。

- 1. とても楽しい
- 2. 楽しい
- 3. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
- 4. 少し不安または負担を感じる
- 5. とても不安または負担を感じる
- 6. わからない

問13 お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。お子さんのこと、保護者のことそれぞれ当てはまる番号すべてにをつけてください。

【お子さんのこと】

- 1. 病気や発育・発達
- 2. 食事や栄養
- 3. 育児の方法
- 4. 子どものしつけ
- 5. 子どもとの接し方
- 6. 子どもの遊び
- 7. 子どもの教育や将来の教育費
- 8. 子育てで出費がかさむ
- 9. 友だちつきあい(いじめ等を含む)
- 10. 登校拒否
- 11. 子どもとの時間がとれない
- 12. 子どもの生活リズムが乱れている
- 13. 特にない
- 14. その他()

【保護者のこと】

- 15. 仕事や自分のやりたいことができない
- 16. 配偶者・パートナーの協力が少ない
- 17. 話し相手や相談相手、協力者がいない
- 18. 保護者同士の交流・つきあいが難しい
- 19. 子どもを叱りすぎているような気がする
- 20. ストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまう
- 21. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない
- 22. 子育てによる心身の疲れが大きい
- 23. 夫婦で楽しむ時間がない
- 24. 家族の中での子育て方針の違い
- 25. 住居が狭い
- 26. 特にない
- 27. その他()

問14 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。当てはまる番号にをつけてください。

- 1. いる
- 2. いない

問14-1は、問14で「1」に つけた方だけがいます。

問14-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人は、どなたですか。当てはまる番号すべてにをつけてください。

- 1. 祖父母等の親族
- 2. 友人や知人
- 3. 近所の人
- 4. 学校の先生
- 5. 医師など医療関係者
- 6. 民生委員・児童委員
- 7. 家庭児童相談室
- 8. 教育相談室
- 9. 母子自立支援員
- 10. 保健所・保健センター
- 11. 児童相談所
- 12. 民間の電話相談
- 13. 勤務先
- 14. その他()

問15 ご近所や地域の人々との付き合いはどうか。当てはまる番号にをつけてください。

- 1. 親しい
- 2. 付き合いがありやや親しい
- 3. 少々付き合いがある
- 4. 付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度
- 5. 分からない

問16 お子さんの地域での催しへの参加状況はどうですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 子育て支援サークルの活動 | 2. スポーツ活動 |
| 3. 文化・音楽活動 | 4. キャンプ等の野外活動 |
| 5. 子ども会等の青少年団体活動 | 6. リサイクル等の環境分野での社会貢献活動 |
| 7. その他の活動 | |

問17 お子さんの休日や夜間の急な発熱などの急病時には、どのように対応されていますか。もっとも当てはまる番号に をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------------|---------|
| 1. 休日急病診療所 | 2. かかりつけ医 | 3. 電話相談 |
| 4. その他 () | 5. 受診できる医療機関を知らない | |

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

ひとり親家庭の場合は、母親欄又は父親欄のみお答えください。

問18 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号に をつけてください。

お子さんの保護者の現在の就労状況	母親	父親
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
これまで就労したことがない	6	6

フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度以上の就労をいいます。

問18で、「1」～「4」のいずれかに をつけた方にうかがいます。

就労パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) - 1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を 内に数字で ご記入ください。（数字は一桁に一字）

母親	1週当たり		日	1日当たり			時間
父親	1週当たり		日	1日当たり			時間

(1) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間は、24時間制（30分単位）で 内に数字で ご記入ください。（数字は一桁に一字）

母親	家を出る時刻			時		0	分頃	帰宅時刻			時		0	分頃
父親	家を出る時刻			時		0	分頃	帰宅時刻			時		0	分頃

問 19 は、問 18 で「 3 」または「 4 」に つけた方にうかがいます。

問19 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。当てはまる番号に つけてください。

フルタイムへの転換希望	母親	父親
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望している	3	3
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問 20 は、問 18 で「 5 」または「 6 」に つけた方にうかがいます。

問20 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号に つけ、該当する 内には数字をご記入ください。（数字は一枠に一字）

(1) 母親

1 . 今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2 . 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3 . すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

選択肢「 2 」または「 3 」の場合、希望する就労形態はどれですか。

{
 ア . フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 イ . パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1 . 今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2 . 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3 . すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

選択肢「 2 」または「 3 」の場合、希望する就労形態はどれですか。

{
 ア . フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 イ . パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

1週当たり 日 1日当たり 時間

お子さんの学童保育所の利用についてうかがいます。

問21 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。なお、「学童保育所」の場合には、利用している時間も 内に数字でご記入ください。また、土日の利用状況もお答えください。時間は必ず24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後子ども教室（ 1 ）	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 学童保育所	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 まで（ <input type="text"/> <input type="text"/> 時間） うち土・日の利用 1. ある 2. ない
6. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
7. その他（コミセン、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

1 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問22～問23は、問21で「5」に をつけた方にうかがいます。

問22 利用している理由について、当てはまる答えの番号に をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方（主な保護者）が、

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| 1. 現在就労している | 2. 就労予定がある / 求職中である |
| 3. 家族・親族などを介護しなければならない | 4. 病気や障がいがある |
| 5. 学生である | 6. その他（ <input type="text"/> ） |

問23 学童保育所に対してどのように感じておられますか、当てはまる答えの番号すべてに をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 利用時間を延長してほしい | 2. 施設・設備を改善してほしい |
| 3. 指導内容を工夫してほしい | 4. その他（ <input type="text"/> ） |
| 5. 現在のままでよい | |

問 24～問 25 は、問 21 で「5」以外に をつけた方にかがいます。

問24 学童保育所を利用していない理由について、もっとも当てはまる答えの番号に をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方（主な保護者）が、

- 1．現在就労していないから
- 2．就労しているが、学童保育所を知らなかったから
- 3．就労しているが、学童保育所が遠いから
- 4．就労しているが、学童保育所の開所時間が短いから
- 5．就労しているが、利用料がかかるから
- 6．就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
- 7．就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
- 8．就労しているが、他の施設に預けているから
- 9．その他（)

問25 お子さんについて、今後、学童保育所を利用したいとお考えですか。当てはまる番号に をつけ、該当する 内には数字をご記入ください。時間は、必ず24時間制で記入してください。

- 1．利用したい
- 1週あたり 日くらい
- 1日あたり 時間 (時 ~ 時)
- うち土・日の利用希望は
- 1日あたり 時間 (時 ~ 時)
- 2．今後も利用しない

問 25-1 は、問 25 で「1」に をつけた方にかがいます。

問25-1 利用したい理由について、もっとも当てはまる答えの番号に をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方（主な保護者）が、

- 1．現在就労している
- 2．就労予定がある / 求職中である
- 3．そのうち就労したいと考えている
- 4．家族・親族などを介護しなければならない
- 5．病気や障がいがある
- 6．学生である / 就学したい
- 7．就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
- 8．その他（)

問26 小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。当てはまる答えの番号に をつけてください。なお、平成27年4月からは、学童保育所を利用できる対象学年が6年生までになる予定です。

1．学童保育所を利用したい

小学 年生まで利用したい

2．放課後子ども教室を利用したい

3．クラブ活動など習い事をさせたい

4．利用を希望するサービスは特にない

5．その他(

)

お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問27 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

1. あった 2. なかった

問27-1は、問27で「1」に つけた方にうかがいます。

問27-1 お子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対応として当てはまる記号すべてに をつけ、それぞれのおおよその日数も 内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。

1年間の対応	日数		
ア. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた			日
イ. 父親が休んだ			日
ウ. 母親が休んだ			日
エ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった			日
オ. ベビーシッターを利用した			日
カ. 子どもだけで家にいた			日
キ. その他 ()			日

問27-2は、問27-1で「イ」または「ウ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問27-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号に をつけ、必要とされた日数についても 内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 日
2. 利用したいとは思わない

問27-3は、問27-2で「1」に つけた方にうかがいます。

問27-3 上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設したもの
2. 病院（小児科医院）に併設したもの
3. その他 ()

問 27 - 4 は、問 27 - 2 で「 2 」に つけた方にかがいます。

問 27 - 4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに つけてください。

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1 . 親が仕事を休んで看るのがよいと思うから | 2 . 親が休むことができるから |
| 3 . 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 4 . 地域の事業の質に不安がある |
| 5 . 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない | |
| 6 . 利用料がかかる・高い | 7 . 利用料がわからない |
| 8 . その他（ | ） |

問 27 - 5 ~ 問 27 - 6 は、問 27 - 1 で「エ」から「キ」のいずれかに回答した方にかがいます。

問 27 - 5 その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んで看たいと思われましたか。「エ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで看たかったおおよその日数について数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

できれば仕事を休んで看たかった日数

--	--

 日

問 27 - 6 休んで看ることができなかった理由について当てはまる番号すべてに つけてください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 . 仕事が忙しくて休めない | 2 . 子どもの看護を理由に休めない |
| 3 . 自営業なので休めない | 4 . 休暇日数が足りないので休めない |
| 5 . その他（ | ） |

宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりの利用についてうかがいます。

問 28 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。あった場合は、この 1 年間の対応として当てはまる番号すべてに つけ、それぞれの日数も 内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

	1 年間の対応	日数	
1 . あった	ア . （同居者を含む）親族・知人にみてもらった		泊
	イ . 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）		泊
	ウ . イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した		泊
	エ . 子どもを同行させた		泊
	オ . その他（	）	泊
2 . なかった		/	

問 28 - 1 は、問 28 で「ア」と回答した方にかがいます。

問 28 - 1 その場合、頼みやすかったですか。当てはまる番号に つけてください。

- | | | |
|-------------|------------------|-----------|
| 1 . 大変頼みにくい | 2 . どちらかという頼みにくい | 3 . 頼みやすい |
|-------------|------------------|-----------|

子育て支援対策の全般についてうかがいます。

問29 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に をつけてください。

- 1 . 不満である 2 . やや不満である 3 . どちらでもない 4 . やや満足である 5 . 満足である

問30 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。当てはまる番号3つまでに をつけてください。

- 1 . 仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進
2 . 子育てにおける経済的負担の軽減
3 . 子育てのための安心、安全な環境整備
4 . 地域における子育て支援
5 . 妊娠・出産の支援
6 . 若者の自立とたくましい子どもの育ちの推進
7 . 子どもの健康の支援
8 . 生命の大切さ、家庭の役割についての理解を促進させる施策
9 . その他 ()
10 . 特にな
11 . わからない

問31 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。当てはまる番号3つまでに をつけてください。

- 1 . 市町村の広報やパンフレット 2 . 保健センターなどの市町村の機関
3 . インターネット(ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどのSNS)
4 . 子育て雑誌 5 . テレビ、ラジオ、新聞
6 . 友人・知人 7 . 隣近所・地域の人
8 . 小学校 9 . 情報の入手先がない
10 . 情報の入手手段がわからない

問32 城陽市の子育て支援施策に関するご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、2月14日までにご投函ください。